

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふるばキッズup

公表日 令和7年 3月 31日

利用児童数 10

回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6				体を動かす活動でも十分にあると思う	適切な人員配置にて運営をさせていただいております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4			2		適切な人員配置にて運営をさせていただいております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5			1		バリアフリー化にはなっていないが、視覚支援を用いて分かりやすい環境作りに努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5			1		送迎後、清掃・除菌を欠かさず行っております。また汚れてしまったカーペットに関しましては、取り外し新しいものへ交換しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6				特性や苦手なことを理解して活動してくれていると思う	日々子供たちの様子の変化を捉え親御様としっかり連携を図り療育を明確に提示してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					親御様からのアセスメントや日頃の様子から適切な支援を全スタッフで考え、どういった療育が必要かを話し合い設定してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5			1		毎日ミーティングを行い、取り組んだ結果や変化をスタッフ間で共有・周知し統一した支援に努めてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			1		毎日ミーティングを行い、取り組んだ結果や変化をスタッフ間で共有・周知し統一した支援に努めてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5		1		毎回楽しそうなプログラムで工夫されている	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1		2	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2		2	2		相談があった場合に助言を行っている。基本的には親御様もご自宅は休む場合なので無理の無い範囲でお伝えしています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6				連絡帳に様子が書いてあるので安心できている	今後も日々の様子を送迎時等に保護者へお伝えし、情報共有を密に行ってまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4			2	相談しやすい話しやすいので満足です	送迎時以外に半年に一回は確実にモニタリングを実施し面談を行っています。必要な場合は自宅訪問や相談員を交え面談の場を設けてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6				相談しやすい話しやすいので満足です	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		3	2		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				相談や申し入れも適切に対応してくれている	LINEを活用しいつでも気軽に相談いただける体制を整えている。緊急時の場合は時間外でも対応を行っている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6				ママにインスタで発信されていて様子が分かって安心できる	SNSにて、毎日の活動の様子を更新しておりますので是非ご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					個人情報の取り扱いには注意して運営させていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			2		各種マニュアル作成しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			1	防災訓練をしている	毎月1回、防災・避難訓練の実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			2	防災訓練をしている	毎月1回、防災・避難訓練の実施しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			2	ちょっとした怪我でも説明されている	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	1				本人・ご家族が楽しく安心して通っていただけるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1			子どものやる気にムラがあっても優しく対応してくれて感謝しています。子どもに合わせて色々な工夫をして支援してくださり感謝しています。	楽しみながら「できた」のサポートをしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふるばキッズup				公表日	令和7年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			送迎後、毎日清掃を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			毎年行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			店舗毎や多店舗全員で会議を定期的に行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		担当利用者様の相談員から評価していただいたり、療育への知識や事故の改善点・スタッフの育成等の業務改善につなげている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			他の職員が受けた外部研修を職場研修の場で周知実施していく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			契約時に親御様からお子様の様子や困りごと、どういった支援を行っていくかの方向性を統一し施親御様の想いをもとに作成を行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			親御様からのアセスメントや日頃の様子から適切な支援を全スタッフで考え、どういった療育が必要かを話し合い設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			各店舗のプログラムはもちろんだが、合同行事でも店舗ごとに案を出し合い決めている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			定期的に活動プログラムの立案者を変更している。季節に合わせてものや新しい内容を取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			送迎後、事業所内で気になった点や保護者からのお話しの情報共有を行っている。また支援内容を細かく次の日に向けて決めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			連絡事項共有ノートやLINEに毎日記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			半年に一度モニタリングを実施している。半年前とは様子は違う為、とても必要な場と認識している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			現在コロナ禍という事で他事業所を含んだ会議は行えていないが、管理者メインが出席し可能であれば他職員一名も出席する。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					モニタリングや送迎時に事業所での様子を伝え、ご家庭での様子や困り事等伺っている
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○				
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○					
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○					
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				契約時に管理者より行っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			契約時に管理者より行っている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			スタッフ一人で考えずミーティング時、全スタッフで助言内容を話し合い、保護者に伝えている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			朝のミーティングや送迎後に職員間で情報共有を毎日行っている。LINEを活用しいつでも気軽に相談いただける体制を整えている。緊急時の場合は時間外でも対応を行っている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各種マニュアル作成済
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			月に一度実際に避難所へ行ったり、避難訓練にまつわる学習をしている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			親御様に契約時、対応等細かく聞き周知している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			親御様から避けて欲しいアレルギーや食べ物を伝えられる為、徹底している。また表も作成している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットの作成を行い、大きな事故を未然に防ぐよう対策を考えている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			委員会を設置し年に一度会議を実施している。また研修も随時実施している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			契約書に記載してある。